

第1章 高岡市の概要

第1節 市域の位置

本市は、富山県の北西部に位置し、面積は、209.58km²である。

北は、氷見市に接し、東は射水市、北西は石川県宝達志水町・津幡町、南西は小矢部市、南は砺波市に接している。市内の西側は山間地域で二上山とこれに連なる西山丘陵があり、東側は庄川・小矢部川によって形成された平坦な平野部からなっている。小矢部川右岸は、庄川の扇状地の末部にあたり、良質の地下水が自噴している。また、市域の北東側は富山湾に面している。

気候は、いわゆる日本海型に属しており、比較的温暖で、年間を通じて降水量も多く多湿であるが、四季の変化に富む豊かな自然に恵まれている。

第2節 沿革

本市の歴史は極めて古く、有史以前から先人が生活を営んでいたことは、石器時代の遺物、縄文・弥生時代の遺跡から伺うことができ、二上山山麓を取り巻く古墳群の存在から、越中文化の発祥の地であると考えられる。

また、奈良時代の天平18年（西暦746年）、大伴家持が国守として越中国府（現在の伏木）に着任し、数多くの秀歌を万葉集に残している。

さらに、江戸時代の慶長14年（西暦1609年）、加賀藩2代藩主前田利長公が現在の高岡古城公園に城を築き、地名を詩経の「鳳凰鳴けり彼の高き岡に」から高岡と名付け、市形態の礎を築いた。

高岡には、利長公による開町以来の高岡銅器、高岡漆器、全国シェアの約9割を占める越中福岡の菅笠などの「ものづくりの技」が脈々と息づいている。

明治22年（西暦1889年）わが国に初の市政が施行され、全国31市の一つとして高岡市が誕生し、その後、周辺町村との合併を行い、平成17年11月1市1町が合併し新高岡市が誕生した。

市域の変遷

	年 月 日	合併市町村等	増加面積 (km ²)	総面積 (km ²)	人口 (人)
旧 高 岡 市	明治22年4月1日	市制施行	—	2.04	29,202
	大正6年5月15日	掛開発村、佐野村の一部	2.20	4.24	36,648
	大正14年8月1日	下関村	4.02	8.26	39,932

	年 月 日	合併市町村等	増加面積 (km ²)	総面積 (km ²)	人口 (人)
旧高岡市	昭和3年6月1日	横田村、西条村	8.04	16.30	48,894
	昭和7年10月1日	佐野村の一部(清水地区)	0.40	16.70	52,243
	昭和8年8月1日	二上村	6.37	23.07	54,672
	昭和17年4月1日	伏木町、能町村、守山村、野村、佐野村、二塚村	41.55	64.62	87,908
	昭和17年10月1日	新湊町	9.38	74.00	113,937
	昭和24年1月1日	福田村	3.36	77.36	138,988
	昭和26年1月1日	新湊町、牧野村分離	△9.32	68.04	109,759
	昭和26年3月17日	国吉村	14.51	82.55	113,555
	昭和26年4月4日	牧野村	4.80	87.35	115,770
	昭和26年10月5日	太田村、石堤村、東五位村	25.89	113.24	122,773
	昭和29年4月1日	小勢村	3.19	116.43	124,165
	昭和30年4月1日	立野村	3.72	120.15	126,549
	昭和35年10月1日	国勢調査時、国土地理院の修正により減少	△0.47	119.68	135,190
	昭和34年11月2日	伏木玉川および伏木伏浦地先 公有水面埋立地	0.12	119.80	139,988
	昭和40年10月1日	国勢調査時、国土地理院の修正により減少	0.01	119.81	140,581
	昭和41年2月10日	戸出町、中田町	31.24	151.05	155,108
	昭和63年10月1日	国土地理院の修正により減少	△0.67	150.38	177,588
	平成9年5月7日	公有水面埋立地(伏木磯町及び伏木湊町)	0.17	150.55	175,364
	平成9年7月14日	公有水面埋立地(伏木万葉ふ頭)	—	150.55	175,428
	平成15年8月20日	公有水面埋立地(太田辰ノ口)	0.01	150.56	171,261
	平成17年7月8日	公有水面埋立地(伏木万葉ふ頭)	0.05	150.61	169,514

	年 月 日	合併市町村等		総面積 (km ²)	人口 (人)
旧 福岡 町	昭和 15 年 2 月 11 日	新設合併	福岡町、大滝村、山王村		11. 52
	昭和 29 年 8 月 1 日	新設合併	福岡町、西五位村、五位山村		49. 65
	昭和 29 年 9 月 15 日	編 入	赤丸村		58. 23
高 岡 市	平成 17 年 11 月 1 日	新設合併	高岡市、福岡町		209. 37
	平成 18 年 4 月 7 日		公有水面埋立地(伏木万葉ふ頭)		209. 38
	平成 21 年 6 月 18 日		公有水面埋立地(伏木万葉ふ頭)		209. 42
	平成 26 年 6 月 27 日		公有水面埋立地(伏木万葉ふ頭)		209. 47
	平成 26 年 10 月 1 日		国土地理院による面積の計測手 法の変更による		209. 57
	令和 4 年 7 月 1 日		国土地理院の修正により増加		209. 58
			国土地理院の修正により増加		165, 714

第3節 市勢

本市の人口は、約 16 万 2 千人で、富山県（人口約 98 万人）内で富山市に次ぐ第 2 の都市である。

産業では、江戸時代から培われた優れた技術は、銅器、漆器、仏壇、薬業などの伝統産業として今日も連綿と続き、昭和 50 年には高岡銅器と高岡漆器が、平成 29 年には「越中福岡の菅笠」が、伝統的工芸品として国の指定を受けた。

さらに、大正年代（1910 年代）から豊富な電力、工業用水、良好な港湾などの立地条件を生かし、繊維、紙、パルプ、化学、金属製品などの近代産業が発展し、戦後は、アルミ製品、プラスチック製品、医薬品製造業などが急伸し、日本海沿岸有数の工業集積を有する商業都市として発展している。

また、平成 27 年 3 月 14 日には北陸新幹線が開業し、高岡市は未来に向けた新たなステージを迎えた。

1 人口（住民基本台帳ベース）

（1）人口、世帯数の推移 (各年 12 月 31 日現在)

区分 年次	世帯数	人口			一世帯あた り人口
		総 数	男	女	
平成 29 年	68, 355	173, 174	83, 857	89, 317	2. 53
平成 30 年	68, 611	171, 958	83, 298	88, 660	2. 51
令和元年	68, 933	170, 470	82, 641	87, 829	2. 47
令和 2 年	69, 322	168, 915	81, 901	870, 14	2. 44
令和 3 年	69, 478	167, 216	81, 031	86, 185	2. 41

区分 年次	世帯数	人口			一世帯あたり人口
		総数	男	女	
令和4年	69,778	165,714	80,343	85,371	2.37
令和5年	70,285	164,053	79,660	84,393	2.33
令和6年	70,909	162,672	79,097	83,575	2.29

(資料：市民課)

(2) 人口動態

(各年12月31日現在)

区分 年次	自然動態			社会動態			増減 合計
	出生	死 亡	増 減	転 入	転 出	増 減	
平成29年	1,183	2,305	△1,122	4,873	4,829	44	△1,078
平成30年	1,123	2,157	△1,034	4,523	4,705	△182	△1,216
令和元年	1,031	2,190	△1,159	4,684	5,013	△329	△1,488
令和2年	1,012	2,153	△1,141	4,394	4,808	△414	△1,555
令和3年	1,020	2,304	△1,284	4,294	4,709	△415	△1,699
令和4年	1,024	2,533	△1,509	4,772	4,765	7	△1,502
令和5年	874	2,601	△1,727	4,894	4,828	66	△1,661
令和6年	843	2,552	△1,709	5,010	4,682	328	△1,381

(資料：市民課)

2 土地利用

地目別面積

(各年1月1日現在、単位：km²)

区分 年次	総面積	田	畠	宅地	山林	原野	雜種地	鉱泉地 池 沼	公有 地等
平成29年	209.57	51.83	2.50	37.68	22.52	2.18	6.46	0.04	86.36
平成30年	209.57	51.61	2.49	37.81	22.52	2.17	6.45	0.04	86.48
令和元年	209.57	51.22	2.49	37.98	22.54	2.17	6.46	0.04	86.67
令和2年	209.57	51.04	2.48	38.26	22.45	2.17	6.59	0.04	86.54
令和3年	209.57	50.88	2.49	38.35	22.41	2.17	6.04	0.04	87.19
令和4年	209.57	50.88	2.49	38.35	22.41	2.17	6.04	0.04	87.17
令和5年	209.58	50.62	2.48	38.58	22.44	2.17	6.11	0.04	87.14
令和6年	209.58	50.51	2.46	38.67	22.44	2.17	6.14	0.04	87.15
令和7年	209.58	50.36	2.45	38.80	22.42	2.17	6.17	0.04	87.16

(資料：資産税課)